

《基礎科目》

科目名	日本国憲法				
担当者氏名	井上 しづ恵				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 高い倫理観と優れた人格を備え、法律のかつ政治的なものの考え方が出来ること。				

《授業の概要》

社会的な問題について、憲法の視点で考える。
 また、日本の統治システムや国家と国民との関係など、日本を知るための基本的な知識を学ぶ。
 タイムリーな話題がある場合や、学生からの要望などによって、授業のスケジュール・内容を変更することもある。

《教科書》

使用しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評・解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

憲法を通じて、日本を知り、社会的な問題について自分なりの意見を述べることができる。

《成績評価基準》

筆記試験は、テーマにそって自分の意見を書く。具体例を挙げながらどれだけ自分の意見をわかりやすく述べられているかが評価の対象である。
 授業の取り組みは、授業中積極的に発言参加したかどうかを基準とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
 授業の取組 40%

《参考図書》

塚田薫『増量 日本国憲法を口語訳してみたら』（幻冬舎文庫、平成29年）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	憲法とは何か	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
2	日本国憲法について	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
3	天皇制	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
4	戦争放棄と平和	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
5	権利と義務	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
6	人権の概念と分類	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
7	自由権	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
8	自由権	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
9	判例	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
10	判例	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
11	内閣	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
12	国会	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
13	裁判所	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
14	三権分立まとめ	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)
15	まとめ	該当する条文をよみ、内容を理解しておく(1時間) レジュメのまとめ、整理(2時間)

《基礎科目》

科目名	英会話				
担当者氏名	富永 真子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

フォニックス（英語圏の子供達が、読み書きを身につけるための学習法）を学習することで「カタカナ英語」にならない、自然なスピードで発話できるよう指導します。英語で学習した基礎文法を応用した様々な場面での会話例を「自然な発音」で躊躇なく話す練習を行う。

《授業の到達目標》

それぞれの文字を持つ「音」の読み方を正しく知った上で、様々なシーンで想定されるロールモデルの練習を行うことで、発話することに自信をつけ「自然な表現」ができるようになることを目標とする。

《成績評価の方法》

筆記試験30%
授業内実技70%

《教科書》

教科書なし
各自ノート2冊を準備する
(1冊はオリジナルテキスト作成用)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業内での対話文のペアワークの発表や、課題に対する回答発言に対し、その発音、強弱、表現力等を総合的に評価し「授業内獲得ポイント」として授業内に評価し通知する。最終的な期末試験(筆記)にそれらの合計点(70点満点)を加算する。

《成績評価基準》

・フォニックスを意識して正しく発音できているか？さらにフォニックスをふまえた上で、表情、姿勢、声のトーンなど総合的に「自然な表現」ができているか。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	日本語「50音」との音の違い(フォニックス)	復習: 毎日10分発音練習
2	フォニックス(t,d郡、b,p,m郡、f,v軍)	復習: 毎日10分発音練習
3	対話文「ショッピングでのシーン」	復習: 毎日10分発音練習
4	対話文「ショッピングでのシーン」	復習: 毎日10分発音練習
5	対話文「ショッピングでのシーン」	復習: 毎日10分発音練習
6	フォニックス(r/lの違い、「h」「th」)	復習: 毎日10分発音練習
7	対話文「道を訪ねる/教えるシーン」①	復習: 毎日10分発音練習
8	対話文「道を訪ねる/教えるシーン」	復習: 毎日10分発音練習
9	対話文「道を訪ねる/教えるシーン」	復習: 毎日10分発音練習
10	フォニックス(カタカナ単語を英語読みに)	復習: 毎日10分発音練習
11	対話文「ホテルチェックインするシーン」①	復習: 毎日10分発音練習
12	対話文「ホテルチェックインするシーン」	復習: 毎日10分発音練習
13	対話文「ホテルチェックインするシーン」	復習: 毎日10分発音練習
14	確認と総復習	半期に学んだ「気づき」をノートにまとめる
15	試験、まとめ	半年間の「毎日10分発音練習」を続けていく

《基礎科目》

科目名	中国語				
担当者氏名	藤井 芳子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

1. 中国語でコミュニケーションを取る為に必要な基本を学ぶ。
2. 言語はコミュニケーションの為に道具とされているので、義務教育で学んだ英語と比較しながら習得し、より多くの人と意見交換や感情表現ができる事を意識して学ぶ。
3. 将来の仕事にも生かせる様に、検定試験をも視野に入れて学ぶ。
4. 中国のお金の価値を知り、買い物練習をする。

《授業の到達目標》

1. 全てのピンイン（発音記号）が読めるようになる。
2. 漢字（簡体字）がより多く、正しく書けるようになる。
3. 日本語とは違う漢字の意味を正しく知り、筆談が出来たり、SNSなどで発信された記事が読み取れるようになる。
4. 中国語で自分の名前や趣味などが言えるようになる。
5. 学籍番号や電話番号がスムーズに言えるようになる。
6. 中国のお金の価値を知り、買い物が出来ようになる。

《成績評価の方法》

- 筆記試験（期末） 40%
 課題プリント提出 40%
 授業の取組 20%

（正しく発音できているか、中国語で挨拶できているか等）

《教科書》

グッと入門中国語（株）金星堂
 芦田久美子・氷野善寛・王牧 著
 （中日・日中辞典、音節表、中国地図、漢字ドリル付）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

教科書に対応した課題プリントに取り組む。
 採点の上返却されるので各自がしっかりと確認できる。
 訂正ヶ所があれば、再提出する事により確実に習得する。

《成績評価基準》

1. 教科書に正しく記入できている。
2. 課題プリントに記入して提出する。
漢字を正しく覚える。
リスニング力の確認。
3. 入退室時に中国語にて挨拶をし、発音をチェックする。
4. 買い物練習や自己紹介を積極的にする。

《参考図書》

中国語検定試験の解説本など、適宜紹介。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	【オリエンテーション】 前期の復習	この授業においての達成目標を立てる。(予習30分) 簡体字、ピンイン、四声の理解が出来ているか確認する。(復習30分)
2	【第4課】 新出単語と会話文	【第4課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。(予習30分) 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。(復習30分)
3	【形容詞述語文】 形容詞色々、程度副詞	形容詞色々を学ぶ。(予習30分) お天気などについて、程度や否定の言い方を覚える。(復習30分)
4	【第5課】 新出単語と会話文	【第5課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。(予習30分) 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。(復習30分)
5	【量詞】 買い物練習	個数や人数の数え方を学ぶ。(予習30分) 中国のお金についての知識を得る。(復習30分)
6	【第6課】 買い物練習	【第6課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。(予習30分) 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。(復習30分)
7	【場所代名詞】 買い物練習	「ここ/あそこ/どこ」について学ぶ。(予習30分) 実際に売り手と買い手に分かれて、買い物練習をする。(復習30分)
8	【第7課】 新出単語と会話文	【第7課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。(予習30分) 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。(復習30分)
9	【時刻の言い方】 自己紹介の練習	自分の好きな事や趣味を中国語で言う練習をする。(予習30分) 言い換え練習と、自己紹介が言えるようになる。(復習30分)
10	【第8課】量詞 新出単語と会話文	【第8課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。(予習30分) 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。(復習30分)
11	【第9課】 新出単語と会話文	【第9課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。(予習30分) 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。(復習30分)
12	【第10課】 新出単語と会話文	【第10課】新出単語の日本語訳を見て、会話文の内容を知る。(予習30分) 漢字ドリルの記入と新出単語を覚える。(復習30分)
13	【後期の総復習】 自己紹介の練習	色々な名詞、形容詞、動詞、副詞、助動詞などの確認。(予習30分) 自分の名前、年齢、趣味などの発音の練習をする。(復習30分)
14	【総まとめ】 練習問題	後期の復習をする。(予習30分) 練習問題を解いてみる。(復習30分)
15	【総まとめ】 習得出来ているかの確認	期末試験として、後期総まとめの問題を解く。(予習30分) 疑問点を確認し解決する。(復習30分)

《基礎科目》

科目名	茶道文化				
担当者氏名	池末 愛香				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

実技を主とする

1. 日常生活での作法をより美しく身につける
2. 周囲への心配りができ、感謝する心を身につける
3. 茶道を学ぶことで、日本文化への造詣を深める
4. 前半は風炉薄茶点前、後半は炉薄茶点前を稽古する

《教科書》

帛紗セット

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業終了後レポートを作成し、次の授業までに提出する

《授業の到達目標》

繰り返し稽古することによって、心を込めたもてなしが自然体でできるようになる

思いやりを持って、お互いに接することができる

真心を込めて、お茶をたてることができる

総合文化といわれる茶道を学ぶことによって、美に対する感性を磨くことができる

日本の昔からの儀礼や慣習を体験し、覚えることができる

《成績評価基準》

授業への取り組み方

レポートの内容

所作・点前の習得度

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 30%

課題 % 実技 30%

授業の取組 40%

その他 () %

《参考図書》

『裏千家茶道』 監修・裏千家今日庵
制作・一般財団法人 今日庵

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 基本の所作	予習内容 シラバスを読む(30分) 復習内容 授業の復習(30分)
2	帛紗の扱い 柄杓の扱い	予習内容 基本の所作を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
3	客の心得 運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
4	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
5	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
6	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
7	運び薄茶点前(風炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
8	薄茶点前(風炉) 棚の扱い	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
9	柄杓の扱い 運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
10	運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
11	運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
12	運び薄茶点前(炉)	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
13	薄茶点前(炉)棚の扱い 茶会の準備	予習内容 帛紗さばき、薄茶点前を確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
14	茶会	予習内容 帛紗さばき、茶会の流れを確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)
15	茶会 総括	予習内容 帛紗さばき、茶会の流れを確認する(30分) 復習内容 帛紗さばき、授業の復習(30分)

《基礎科目》

科目名	上級読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

日本語能力試験のN1を目標とした読解力を上げるための練習を行います。ポイント別学習や模擬問題での練習を行うことで、実践の力を習得します。授業は課題の解説を主に行うため、予習した上で授業を受け、授業の内容を覚えているうちに復習し、次回の課題に取り組むようにしてください。課題忘れ、欠席のないよう自己管理を行ってください。

《授業の到達目標》

- ・幅広い話題について書かれた論説・評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、理解することができる。
- ・さまざまな内容の深みのある読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート %
 課題 30% 実技 %
 授業の取組 30%
 その他 () %

《教科書》

日本語能力試験問題集N1読解スピードマスター (Jリサーチ出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は、次の授業時に解説する。
 理解度を確かめるために適宜小テストを実施し、添削して返却する。

《成績評価基準》

- ・段落ごとの要旨を理解できていたか。
- ・文の構成と後に続く文へのつながりを理解できていたか。
- ・抽象的な文章を理解できていたか。

以上について、小テストや期末テストで総合的に評価します。

《参考図書》

日本語能力試験N1関連問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	文章の仕組み復習 対比・比喻・指示語等	予習：科目内容の確認 30分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
2	情報検索 お知らせ・メール・広告	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
3	情報検索 説明書き・表リスト	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
4	内容理解 中文	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
5	内容理解 長文	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
6	主張理解 中文	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
7	主張理解 長文	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
8	統合理解	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
9	統合理解	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
10	模擬試験	予習：模試の準備 60分 復習：模試の見直し 60分
11	模擬試験の解説	予習：模試のやり直し 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
12	模擬試験	予習：模試の準備 60分 復習：模試の見直し 60分
13	模擬試験の解説 過去問題	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
14	過去問題 解説 過去問題	予習：課題 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分
15	期末試験 まとめ	予習：期末試験の準備 60分 復習：授業で学習した語彙・文法の復習 60分

《基礎科目》

科目名	検定文法 - B				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

- 1.N1レベルの文法を理解し、くり返し使い方を練習する。
- 2.N1レベルの文法を使って、文章を書く練習をする。
- 3.N1レベルの聴解練習をする。

《教科書》

『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN1』

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・テキストの各ユニット終了後、小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
- ・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《授業の到達目標》

- 1.日本語能力試験N1に合格に向け、文法力の向上を目指す。
- 2.テキストで学んだ文法をよく理解し、日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。
- 3.テキストで学んだN1文法を使用し、文章が書ける。
- 4.N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えを導き出せる。

《成績評価基準》

- ・N1文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。
- ・N1文法を使用し、文章が書けるようになったか。
- ・N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えが導き出せるようになったか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験50%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み20%

《参考図書》

パワードリル文法N1

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 N1文法 導入・練習	予習：前期に学んだ文法の確認をしておく。(60分) 復習：第1回授業内容の復習(30分)
2	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第2回授業内容の予習(30分) 復習：第2回授業内容の復習(30分)
3	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第3回授業内容の予習(30分) 復習：第3回授業内容の復習(30分)
4	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第4回授業内容の予習(30分) 復習：第4回授業内容の復習(30分)
5	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第5回授業内容の予習(30分) 復習：第5回授業内容の復習(30分)
6	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第6回授業内容の予習(30分) 復習：第6回授業内容の復習(30分)
7	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第7回授業内容の予習(30分) 復習：第7回授業内容の復習(30分)
8	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第8回授業内容の予習(30分) 復習：第8回授業内容の復習(30分)
9	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第9回授業内容の予習(30分) 復習：第9回授業内容の復習(30分)
10	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第10回授業内容の予習(30分) 復習：第10回授業内容の復習(30分)
11	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第11回授業内容の予習(30分) 復習：第11回授業内容の復習(30分)
12	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第12回授業内容の予習(30分) 復習：第12回授業内容の復習(30分)
13	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第13回授業内容の予習(30分) 復習：第13回授業内容の復習(30分)
14	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第14回授業内容の予習(30分) 復習：第14回授業内容の復習(30分)
15	総復習 期末テスト	予習：テスト前の総復習(60分) 復習：テスト後の確認(30分)

《基礎科目》

科目名	検定文字語彙 - B				
担当者氏名	井上 しづ恵				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

語彙マップを作成し、今まで学習したN1までの語彙を分野別にまとめ、関連語彙を整理する。
長音、濁音等間違っていた語彙を修正する。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業中、個別にフィードバックを行う。間違った使用が多いものについては、クラスに対してフィードバックを行う。

《授業の到達目標》

- ・今まで習得してきた語彙を、「わかる」「知っている」語彙から「使える」語彙にする。
- ・各分野で自分が知りたい語彙を増やす。
- ・ビジネスシーンで使用される漢字の読み、書きの徹底

《成績評価基準》

語彙マップ、語彙を使用した短作文等を課題とするが、課題の提出状況を重視する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%
課題 40%
授業の取組 10%

《参考図書》

新完全マスター 語彙 日本語能力試験N1
新完全マスター 語彙 日本語能力試験N2

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	語彙マップの作り方	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
2	テーマ：自然	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
3	テーマ：公共サービス	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
4	テーマ：趣味	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
5	テーマ：体	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
6	テーマ：病気、病院	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
7	テーマ：教育	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
8	テーマ：研究、学問	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
9	テーマ：就職	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
10	テーマ：貿易	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
11	テーマ：会社	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
12	テーマ：反対語	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
13	テーマ：思想	予習：語彙マップの作成(2時間) 復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間)
14	テーマ：(クラスで決める)	復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間) 今まで行った小テストの整理(2時間)
15	まとめ	復習：授業中作成した語彙マップの完成、短作文(1時間) 今まで行った小テストの整理(2時間)

《専門科目》

科目名	映画論				
担当者氏名	今木 清志				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。			

《授業の概要》

映画は時代とともに、独自の变遷と進化を果たしている。この授業では、日本と世界の様々な時代の名作映画の映像を用いて、表現技法の変遷と、制作された時代との関連について分析し、映画の潮流を概観する。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける

《授業の到達目標》

- (1)映画の時代ごとの変遷について説明できる
- (2)映画の表現技法について、制作された時代と関連づけて説明できる
- (3)映画の放つメッセージを読み解くことができる

《成績評価基準》

- (1)映画の時代ごとの変遷について正確に説明できているか評価する
- (2)映画の表現技法について、制作された時代と関連づけて正確に説明できているか評価する
- (3)映画の放つメッセージを正確に読み解くことができているか評価する

《成績評価の方法》

授業の取組 50%
 その他(リアクションペーパーなど) 50%

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	サイレント映画の時代 『街の灯』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
2	サイレント映画の時代 『街の灯』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
3	日本映画の傑作 『東京物語』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
4	日本映画の傑作 『東京物語』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
5	日本映画の傑作 『東京物語』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
6	ミュージカル黄金時代 『雨に唄えば』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
7	ミュージカル黄金時代 『雨に唄えば』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
8	日本映画の傑作 『七人の侍』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
9	日本映画の傑作 『七人の侍』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
10	日本映画の傑作 『七人の侍』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
11	日本映画の傑作 『七人の侍』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
12	ミュージカル新時代『ウエストサイド物語』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
13	ミュージカル新時代『ウエストサイド物語』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
14	ミュージカル新時代『ウエストサイド物語』	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
15	まとめ	予習：周辺作品などの映画を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	表現と身体論				
担当者氏名	宮谷 未知子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。			

《授業の概要》

(未定)

《教科書》

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 %
 その他 () %

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《専門科目》

科目名	日越通訳				
担当者氏名	BUI THI THU SANG				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

行政の手続きや医療、司法、教育、観光、ビジネス、放送においてシナリオ通訳を行い、実際の通訳現場を見学したり、実習に行ったりする。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題が提出された後、一週間以内フィードバックする。

《授業の到達目標》

通訳概論を受講した後、日越通訳者を目指している中級以上の日本語能力を持つ学生は通訳現場見学・実習やシナリオ通訳を通して、実践的な知識と技術を身につける。

《成績評価基準》

通訳現場の見学・実習後の報告書
シナリオ通訳の実技
シナリオ通訳の事前準備

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 50% 実技 30%
授業の取組 20%
その他 () %

《参考図書》

「通訳の技術」小松達也 (研究社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	日越通訳の基本	予習内容(2時間)事前配布資料を予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、ノートにまとめる
2	行政通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
3	行政通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
4	医療通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
5	医療通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
6	司法通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
7	司法通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
8	教育通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
9	教育通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
10	案内通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
11	案内通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
12	ビジネス通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
13	ビジネス通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
14	ビジネス通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
15	放送通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新

《専門科目》

科目名	貿易実務				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

貿易取引の流れについて専門用語に関する説明を行なった後、陸航空における輸送のしくみ等に関する知識について説明を行なう。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

到達目標に達したかを期末試験(50%)、授業への取組(30%)および、課題提出状況(20%)によって測定する。

《授業の到達目標》

本講義では、貿易とはどのような取引なのか、取引実務の手順はどのように行われるのか、専門用語を用いて入門的な講義を行なう。

《成績評価基準》

不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%
課題 20%
授業の取組 30%

《参考図書》

黒岩章(2021)『はじめての人の貿易入門塾』株式会社かんき出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	貿易とは何か	予習: 経営学とは何かを自分でも調べておくこと(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
2	貿易取引の形態	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
3	モノ・カネ・カミ: 貿易取引の流れ	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
4	貿易取引に関わる仕事とは	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
5	貿易取引における「売買契約」につながる流れ	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
6	インコタームズ: 貿易取引における国際的ルール	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
7	品質条件と数量条件	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
8	海上輸送の特徴とは何か	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
9	海上輸送の船: コンテナ船と在来型貨物船	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
10	航空輸送の特徴とは何か	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
11	WTO: 世界の貿易管理体制について	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
12	税関の役割について	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
13	「貿易取引の流れ」に関する復習	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
14	「貿易施設と輸送手段」について	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
15	期末試験	予習: これまでの全内容を復習する(5時間) 復習: 講義内容の全体を振り返る(2時間)

《専門科目》

科目名	ビジネス実務				
担当者氏名	有田 麻紀				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

大手企業の秘書室において、個人付秘書の長年の経験や、一般のお客様からVIPまで、多種多様の方々とのビジネス交流の経験から、企業における対人関係の実例や実体験、社会人としての常識・教養などを題材とした議論や演習を行う。また、マニュアルだけにとらわれない、臨機応変なコミュニケーション術を、実例やロールプレイングなどをまじえながら考察を行い、心身共に逞しい人間対応力を身につけるような講義を行う。

《授業の到達目標》

- ・社会人としての常識やビジネスマナーの基本、組織人としての社会適応力を身につけると同時に、自発的に行動できる発信力を発揮できるようにする。
- ・人生の目標を設定し、「働く」ということの意義を見出すことができる
- ・家庭の躰を礎とした大人のモラルを学び、コンプライアンスの知識を身につける

《成績評価の方法》

筆記試験	50 %	レポート	%
課題	20 %	実技	%
授業の取組	30 %	その他 ()	%

《教科書》

無し

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト2回の実施により採点し、全ての設問に対する解説を次の週で行う。その際、応用問題も提示し、その場で質疑応答をして、理解度をさらに深めさせる。

《成績評価基準》

講義中における態度による評価と課題提出 50%
理解度確認小テスト(2回) 50%

《参考図書》

社会人のための基本のビジネスマナー(ナツメ社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	「働く」ことの意味。学生と社会人の違い	予習：テーマについて答えられるようにする事(2h) 復習：年下に説明できる(2h)
2	ディスカッションと発表(夢・目標・不安 etc)	予習：ディスカッション出来るよう考えておく事(2h) 復習：自分で明言する(2h)
3	ビジネスマナー 挨拶・敬語・若者言葉	予習：敬語を説明できる事(2h) 復習：積極的に喋る(2h)
4	ビジネスマナー クッション言葉・電話対応	予習：ビジネス電話の言いまわしを知る事(2h) 復習：練習する(2h)
5	ビジネスマナー 通信ツール(メール・文書)	予習：ビジネス文書を勉強する(2h) 復習：練習する(2h)
6	小テスト(45分)/ビジネスマナー 第一印象	予習：身だしなみのポイントを知る(2h) 復習：他人からの評価を受ける(2h)
7	ビジネスマナー 報連相・名刺の扱い	予習：報連相を知る(2h) 復習：人に説明できる(2h)
8	ビジネスマナー 湯茶接待・仕事の進め方	予習：来客対応法を知る(2h) 復習：ロープレでできる(2h)
9	ビジネスマナー ワークライフバランス・スケジュール管理	予習：ストレスについて知る(2h) 復習：自己解決策を見出す(2h)
10	ビジネスマナー コミュニケーション力の向上法	予習：話術についての本を読む(2h) 復習：自分の方法を見出す(2h)
11	ロールプレイング「こんな時どうする」	予習：柔軟性を学ぶ(2h) 復習：ロープレの質を高める(2h)
12	ビジネスマナー 世代間ギャップについての対策	予習：ギャップの生じる理由を探る(2h) 復習：人に説明できる(2h)
13	ライフマナー 家庭の躰	予習：事前課題を説く(2h) 復習：年下に指導できる(2h)
14	小テスト(45分)/ライフマナー 家庭の躰	予習：事前課題を説く(2h) 復習：年下に指導できる(2h)
15	アフター5のビジネスマナー/まとめ	予習：飲み会等での疑問を出す(2h) 復習：ロープレでできる(2h)

《専門科目》

科目名	マーケティング論				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

マーケティングに関する基礎的な専門知識について学習するとともに、実践的で有用なマーケティング的発想を習得することを目的とする。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

到達目標に達したかを期末試験(50%)、授業への取組(30%)および、課題提出状況(20%)によって測定する。

《授業の到達目標》

マーケティングの基礎理論と専門知識について理解した上で、実践的に用いることができる情報収集力と発想力を身につけることを到達目標とする。

《成績評価基準》

第3週目、第5週目、第7週目にグループディスカッションを実施し、その積極的参加とディスカッションの貢献度に応じて成績評価を行う。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
グループディスカッション 30%
授業の取組 30%

《参考図書》

宮崎哲也(2016)『はじめての「マーケティング」1年生』明日香出版社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	マーケティングとは何か	予習: 経営学とは何かを自分でも調べておくこと(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
2	4Pと4C: マーケティングミックス	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
3	グループディスカッション(1): 4Pと4Cの活用	予習: 第2週目の講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
4	環境分析: 企業を取り巻く外的環境を理解する	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
5	グループディスカッション(2): 環境分析の活用	予習: 第4週目の講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
6	商品の宣伝: プロモーション活動の実用例	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
7	グループディスカッション(3): 宣伝方法を考える	予習: 第6週目の講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
8	商品の低価格追求によるマーケティングの失敗	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
9	コモディティ化: 価値のない商品の特徴とは	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
10	イノベーションのジレンマ	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
11	ソーシャルメディアによるプロモーション戦略	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
12	PPM分析: 将来性のある商品・サービスとは	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
13	行動経済学入門: 合理的でない顧客の行動とは	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
14	CSRマーケティング: ビジネスで社会を変える	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
15	期末試験	予習: これまでの全内容を復習する(5時間) 復習: 講義内容の全体を振り返る(2時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	黒瀬 菜々				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

ゼミナールではさまざまな国の国や地域の文化、思想、習慣などについてディスカッションを行います。それにあたって、一人一人がテーマに沿って事前に調べて発表し、ディスカッション後にはレポート等の形でまとめを行います。普段はテレビやインターネットなどのメディアを通じてのみ知る情報と、実際の情報がどのように異なるのかを意識して、各回の授業にのぞんでください。

《授業の到達目標》

1. 自らテーマを選択し、調査して発表するまでを主体的に行うようになること。
2. インタビューや発表などを通して、他者の話を「積極的に」聞けるようになること。
3. メディアを通じた情報や一般的なステレオタイプについて認識を持てるようになること。

《成績評価の方法》

課題 50%
授業の取組 50%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却

《成績評価基準》

1. 発表に向けて自ら計画的に準備をすすめ、インタビュー等に臨むこと。
2. インタビューやディスカッションにおいて積極的に他者とコミュニケーションを図ること。
3. 質問をしたり意見を述べたりしながら、積極的に意見を聞く姿勢を示すこと。

《参考図書》

『異文化コミュニケーション研究法』石井敏、久米昭元編
(有斐閣部ブックス)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 事前準備	復習：インタビュー練習(1時間)
2	インタビュー	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー後のまとめ(30分)
3	発表とディスカッション	予習：発表準備(30分) 復習：反省点のまとめ(30分)
4	事前準備	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー練習(1時間)
5	インタビュー	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー後のまとめ(30分)
6	発表とディスカッション	予習：発表準備(30分) 復習：反省点のまとめ(30分)
7	事前準備	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー練習(1時間)
8	インタビュー	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー後のまとめ(30分)
9	発表とディスカッション	予習：発表準備(30分) 復習：反省点のまとめ(30分)
10	事前準備	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー練習(1時間)
11	インタビュー	予習：事前調査(30分) 復習：インタビュー後のまとめ(30分)
12	発表とディスカッション	予習：発表準備(30分) 復習：反省点のまとめ(30分)
13	個人発表準備	予習：PPT・レジюме作成等の発表準備(1時間)
14	個人発表準備	予習：PPT・レジюме作成等の発表準備(1時間)
15	発表	予習：発表準備(30分) 復習：反省点のまとめ(30分)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	宮谷 未知子				
授業方法	演習	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体の構造や使い方について解説するとともに、様々な身体文化の紹介を通し、表現活動全般における広い視野を身につけていく。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出したレポートまたはパフォーマンスに対し、講評の時間を設けます。

《授業の到達目標》

からだを使った様々な表現方法に触れ、表現者のプロとしての意識を身につける。それぞれの目標を設定し、客観的に自分を分析しながらよりよいパフォーマンスの技術を身につける。

《成績評価基準》

自身の身体について積極的に興味・関心を持ち、様々なジャンルの表現活動に目を向け、その中に共通する表現力の高さや豊かさを自分なりに考察することができるかどうか判断します。また、それぞれの研究テーマごとのパフォーマンス発表およびプレゼンテーションの内容を評価します。

《成績評価の方法》

レポート 30%
授業の取組 70%

《参考図書》

「進化するミュージカル」
小山内伸 著

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分)
2	研究テーマの設定1	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分)
3	研究テーマの設定2	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分)
4	研究テーマの設定3	予習：身体表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分)
5	実務研究1	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
6	実務研究2	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
7	実務研究3	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
8	実務研究4	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
9	実務研究5	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
10	実務研究6	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
11	実務研究7	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
12	実務研究8	予習：今後自分の研究に必要な材料を集める(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
13	研究発表のための準備	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
14	研究テーマごとの発表	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる(30分) 復習：取組んだ内容の練習・魅せ方の研究(30分)
15	まとめ	予習：これまでの取り組みを振り返り足りない部分をまとめる(30分) 復習：1年を振り返り、改善点をノートにまとめる(30分)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	今木 清志				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

映画・ドラマ等の映像作品は時代を映す鏡である。この授業では、様々な映像作品を用いて、映画・ドラマの歴史や、制作された時代の社会状況との関連について分析し、映像作品の放つメッセージを論じる。
さらに、映像作品分析と並行して、そこから得た学びを活かして、実際にドラマ制作を行う。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける

《授業の到達目標》

- (1)映画・ドラマの歴史について説明できる
- (2)映画・ドラマについて、制作された時代の社会状況と関連づけて説明できる
- (3)映画・ドラマの放つメッセージを読み解くことができる
- (4)映像作品分析で得た学びを活かしたドラマ制作ができる

《成績評価基準》

- (1)映画・ドラマの歴史について正確に説明できるか評価する
- (2)映像作品を制作当時の社会状況と関連づけて説明できるか評価する
- (3)映像作品のメッセージを読み解くことができるか評価する
- (4)映像作品分析から得た学びを活かしたドラマ制作ができるか評価する

《成績評価の方法》

授業の取組 50%
その他（リアクションペーパーなど） 50%

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
2	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
3	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
4	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
5	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
6	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
7	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
8	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
9	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
10	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
11	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
12	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
13	映像論	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
14	ドラマ制作	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
15	まとめ	予習：映像作品分析の周辺作品を積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	徳永 玲子				
授業方法	演習	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力		1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。			

《授業の概要》

脚本の創作・登場人物などの分析・読み合わせ・立ち稽古・スタッフ作業の分担・発表を行う。

《教科書》

使用しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

創作した作品・分析表・スタッフ用台本に、講評や解説、コメントをつけて、返却。

《授業の到達目標》

より、人々に伝わる芝居を創る。
表現の研究ができるようになる。
演出ができるようになる。

《成績評価基準》

授業への取り組みや、作品、分析表、台本など。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート 30%
課題 50% 実技 30%
授業の取組 20%
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声練習・基礎訓練 脚本の創作・テーマ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
2	発声練習・基礎訓練 脚本の創作	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
3	発声練習・基礎訓練 脚本の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
4	発声練習・基礎訓練 脚本の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
5	発声練習・基礎訓練 立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
6	発声練習・基礎訓練 立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
7	発声練習・基礎訓練 立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
8	発声練習・基礎訓練 脚本の創作・テーマ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
9	発声練習・基礎訓練 脚本の創作	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
10	発声練習・基礎訓練 脚本の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
11	発声練習・基礎訓練 脚本の読み合わせ	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
12	発声練習・基礎訓練 立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
13	発声練習・基礎訓練 立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
14	発声練習・基礎訓練 立ち稽古	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)
15	発表	創作活動の参考となる書籍を読む・動画鑑賞する。(30分) 読書・鑑賞記録を綴る。(30分)

《専門科目》

科目名	イベント研修				
担当者氏名	今木 清志、徳永 玲子、宮谷 未知子、黒瀬 菜々、金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

本学科は対外ライブを年3回程度開催、対外発表会を年1回開催し、ダンスユニット・声優ユニット・演劇ユニット・テクグループそれぞれの学生達が自力で対外的イベントを構成・展開しうる水準を目指すために、テレビドラマの制作現場でプロデューサーとしての実務経験を持つ教員等が指導する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

イベント終了後、学生同士でディスカッションをする場を設け、総合的なフィードバックを行う。

《授業の到達目標》

本学科はあくまで「デビューの名に値するデビューを目指す」学科である。対外的イベントを展開しうるだけの基礎的資質を有した学生に対して、ジャンル別の特訓を課し、学科主催のイベントという総合的なエンターテイメントショーを構成できる水準にまで上昇せしめることを目的とする。

《成績評価基準》

各グループがいかなる自主的訓練を積み重ねたか、観客にいかなる感動を与えたかの2点に於いて評価する。

《成績評価の方法》

授業の取組 100%

《参考図書》

世界カワイイ革命
櫻井孝昌 著 (PHP 新書)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス(後期のイベント実施計画)	予習: 学内の年間行事、制度等を確認すること(30分) 復習: 説明内容メモ見直し(30分)
2	イベント企画	予習: 年間イベント計画の検討(30分) 復習: イベント企画の内容の見直し(30分)
3	イベント練習1	予習: 年間イベント計画の検討(30分) 復習: イベント企画の内容の見直し(30分)
4	イベント練習2	予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: 練習内容の見直し(30分)
5	イベント出演	予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: 練習内容の見直し(30分)
6	出演イベントに関する振り返り	予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: 本番の反省(30分)
7	卒業公演に向けた企画・構成1	予習: 様々な予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: ライブ配信内容の企画案作成(30分)
8	卒業公演に向けた企画・構成2	予習: 様々な予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: ライブ配信内容の企画案作成(30分)
9	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成1	予習: 様々な予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: ライブ配信内容の企画案作成(30分)
10	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成2	予習: 様々な予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: ライブ配信内容の企画案作成(30分)
11	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習1	予習: ライブ配信内容の企画内容の見直し(30分) 復習: 配信ライブの練習内容の検討(30分)
12	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習2	予習: ライブ配信内容の練習の進捗を確認(30分) 復習: 配信ライブの練習内容の検討(30分)
13	「SHOWROOM」学科配信本番実施	予習: ライブ配信内容の練習の進捗を確認(30分) 復習: ライブ配信内容の反省点をまとめる(30分)
14	卒業公演に向けた練習1	予習: 卒業公演の各シーンにおける練習の進捗を確認(30分) 復習: 卒業公演に関する練習内容の見直し(30分)
15	卒業公演に向けた練習2	予習: 卒業公演の各シーンにおける練習の進捗を確認(30分) 復習: 卒業公演に関する練習内容の見直し(30分)

《実務科目》

科目名	ボイス・トレーニング				
担当者氏名	林 麻耶				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ソプラノ歌手である教員が、音程やリズムなどを正確に歌うだけでなく、歌を通して自己表現する方法、感情表現する方法など、応用的な部分を教えます。最終回には1・2年生合同の公開発表会を行うので、そこに向けて作品を作りあげていきます。

《授業の到達目標》

より美しく響きのある音色を求めて、発声法・呼吸法を楽しく勉強します。また、有名なミュージカルから、ソロやアンサンブルシーンを取り上げ、メロディー・リズム・ハーモニーを体で感じ、聞き手の心に響くように歌うことを目標とします。

《成績評価の方法》

実技 60%
授業の取組 40%

《教科書》

コーラス・トレーニング2
(1年生から2年間使用します)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験は全て実技です。
動画撮影を行い、振り返って感想を述べあうと共に、今後の課題を確認します。

《成績評価基準》

到達目標に基づき、平常の授業への取り組みと、積極的な姿勢を総合的に評価します。

《参考図書》

授業時にプリントを配布します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ミュージカルシーン	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
2	ミュージカルシーン	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
3	ミュージカルシーン	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
4	ミュージカルシーン	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
5	ミュージカルシーン	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
6	ソロ曲	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
7	ソロ曲	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
8	ソロ曲	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
9	ソロ曲	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
10	卒業ソング	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
11	卒業ソング	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
12	卒業ソング	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
13	卒業ソング	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
14	発表会リハーサル 仕上げ	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
15	公開発表会 まとめ	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)

《実務科目》

科目名	演劇表現演習				
担当者氏名	徳永 玲子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。			

《授業の概要》

面接・オーディションで問われる能力を身につける。

《教科書》

使用しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

「外郎売」を毎回、朗読する。

《授業の到達目標》

作品創りに関する総合的な知識・技能の習得。
就職・進学対策。

《成績評価基準》

「外郎売」を暗記、朗読。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 % 実技 80 %
授業の取組 20 %
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声練習・基礎訓練 面接対策・質疑応答	「人生を通じて実現したいこと」についてメモする。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
2	発声練習・基礎訓練 面接対策・質疑応答	「コアを伝える」ためにはどうしたらよいか、メモする。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
3	発声練習・基礎訓練 即興劇を創る。	「インプロ」について知る。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
4	発声練習・基礎訓練 即興劇を創る。	「インプロ」について知る。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
5	発声練習・基礎訓練 オーディション対策	シェイクスピア作品、日本文学の古典などを読む。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
6	発声練習・基礎訓練 オーディション対策	シェイクスピア作品、日本文学の古典などを読む。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
7	発声練習・基礎訓練 フリートーク	テーマについて多角的に研究する。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
8	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	演じたい作品、テーマについて考える。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
9	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	脚本を創る。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
10	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	脚本を読む。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
11	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	立ち稽古についてプランを立てる。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
12	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	裏方のプランを考える。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
13	発声練習・基礎訓練 芝居を創る。	通し稽古のプランを考える。(30分) 本日の授業のおさらい。(30分)
14	発声練習・基礎訓練 芝居を発表する。	芝居の最終点検。(30分) 「外郎売」を覚える。(30分)
15	発声練習・基礎訓練 「外郎売」暗記テスト	「外郎売」を覚える(30分)

《実務科目》

科目名	ボディ・メイキング				
担当者氏名	宮谷 未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ダンスやエクササイズ指導の経験を持つ教員がその実務経験を活かし、健康でバランスのとれたプロポーションづくりのためのトレーニング方法や、ストレッチ方法を指導する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《授業の到達目標》

ボディメイキングで習得した動きをより深め、幅広い表現力を養うため自身の身体と向き合い適切なコントロールができるようになる。健康でバランスのとれたプロポーションをつくるための方法を身につける。

《成績評価基準》

自分の身体へ真摯に向き合い、適切に身体をコントロール出来ているか評価する。また、それぞれのエクササイズやストレッチの意味を理解し、積極的に授業へ取り組んでいるかどうかを評価する。

《成績評価の方法》

実技 30%
授業の取組 70%

《参考図書》

新版「これ一冊できちんとわかるピラティス」
新井亜樹 監修
「最強のヨガレッスン」レスリー・カミノフ著

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	前期の振り返り(アライメントチェック)	予習: 前期に決めた自己目標の見直し(30分) 復習: アライメントチェックを元に自分の身体的特徴を分析する(30分)
2	身体コントロールの復習1	予習: 指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習: 授業で習った動きを自主練習する(30分)
3	身体コントロールの復習2	予習: 指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習: 授業で習った動きを自主練習する(30分)
4	身体コントロールの復習3	予習: 指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習: 授業で習った動きを自主練習する(30分)
5	身体コントロールの復習4	予習: 指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習: 授業で習った動きを自主練習する(30分)
6	バランス感覚を身につける・応用1(ボール)	予習: 指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習: 授業で習った動きを自主練習する(30分)
7	バランス感覚を身につける・応用2(ボール)	予習: 指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習: 授業で習った動きを自主練習する(30分)
8	バランス感覚を身につける・応用3(ボール)	予習: 指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習: 授業で習った動きを自主練習する(30分)
9	柔軟性向上のためのストレッチ応用1	予習: 指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習: 授業で習った動きを自主練習する(30分)
10	柔軟性向上のためのストレッチ応用2	予習: 指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習: 授業で習った動きを自主練習する(30分)
11	柔軟性向上のためのストレッチ応用3	予習: 指定した動画を視聴し、その動き特徴を分析しまとめる(30分) 復習: 授業で習った動きを自主練習する(30分)
12	エクササイズ・ストレッチプランを組み立てる1	予習: これまでの授業の内容を元に自分に必要なエクササイズをまとめる(30分) 復習: 自分で作成したプランを自宅で実行する(30分)
13	エクササイズ・ストレッチプランを組み立てる2	予習: これまでの授業の内容を元に自分に必要なエクササイズをまとめる(30分) 復習: 自分で作成したプランを自宅で実行する(30分)
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習: これまでの授業の内容をまとめる(30分) 復習: テストの内容を復習する(30分)
15	フィードバック・まとめ	予習: これまでの授業の内容をまとめる(30分) 復習: 自分で作成したプランを自宅で実行する(30分)

《実務科目》

科目名	洋舞特演 - B				
担当者氏名	宮谷 未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体表現の幅を広げステージで表現するための実践的授業を行う。また、踊るために必要な身体づくりのためのトレーニング指導を行う。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《授業の到達目標》

洋舞特演 Aで経験したことを通し、さらに表現を発展させていく。ステージパフォーマンスの基本となる JAZZ ダンスの基礎的な動きをさらに応用し、様々なコンビネーション(振付)を経験することで表現の幅を広げる。動きに感情を乗せ、音楽にあった表現の仕方を身につける。

《成績評価基準》

授業で習った様々な動きや振付をどれくらい習得できているか、音楽に合わせた表現が出来ているか実技試験で判断する。毎回の授業で集中し自身の身体をコントロールしようと努めているかどうか、その取り組みの姿勢を評価する。

《成績評価の方法》

実技 30%
授業の取組 70%

《参考図書》

「ダンス解剖学」ジャッキー・グリーン・ハース著
武田淳也 監訳

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	前期の振り返り	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習：レッスンを受ける際の注意点を復習しノートにまとめる(30分)
2	基本的な動きの復習1 + 踊るためのトレーニング	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
3	基本的な動きの復習2 + 踊るためのトレーニング	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
4	基本的な動きの復習3 + 踊るためのトレーニング	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
5	基本的な動きの復習4 + 踊るためのトレーニング	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
6	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション1	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
7	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション2	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
8	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション3	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
9	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション4	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
10	コンビネーション応用(感情表現)1	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
11	コンビネーション応用(感情表現)2	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
12	コンビネーション応用(感情表現)3	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
13	コンビネーション応用(感情表現)4	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動きを自主練習する(30分)
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習：実技テストの準備をする(30分) 復習：テストの内容を復習し改善点をノートにまとめる(30分)
15	フィードバック・まとめ	予習：1年間の授業で習った内容を振り返る(30分) 復習：テストのフィードバックを受け、動きを練習する(30分)

《実務科目》

科目名	モデルストリート				
担当者氏名	川野 聡子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

プロモデルレッスンコーチがモデルの経験を生かし、モデルウォーキングを学びます。自分の体のクセを知り、改善に向け体作りをしながら、様々なテーマや音楽、シチュエーションによって異なるウォーキングや表現方法を取得します。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける

《授業の到達目標》

- ・姿勢が美しくなる
- ・基礎のウォーキングを身に付けることができる
- ・リズム感や表情力を養うことができる

《成績評価基準》

実技試験の結果により評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 80%
 授業の取組 20%
 その他 () %

《参考図書》

使用しない

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	基礎 ストレッチ・姿勢・ウォーキング基礎	ストレッチ・筋トレ (30分)・姿勢を意識する(30分)
2	基礎 姿勢・ウォーキング・ターン	ストレッチ・筋トレ (30分)・ターンの練習(30分)
3	基礎 姿勢・ウォーキング・ターン・ポーズ	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ポーズの練習(30分)
4	基礎 フォーメーション	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ポーズの練習(30分)
5	基礎 フォーメーション	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ポーズの練習(30分)
6	基礎 小物の見せ方	ストレッチ・筋トレ (30分)・小物使いの練習(30分)
7	基礎 ジャケット・コートの扱い方	ストレッチ・筋トレ (30分)・ジャケット脱ぎ方の練習(30分)
8	基礎 ジャケット・コートの扱い方	ストレッチ・筋トレ (30分)・ジャケット脱ぎ方の練習(30分)
9	着物の歩き方	ストレッチ・筋トレ (30分)・ウォーキング+ター ン(30分)
10	ブライダル ドレスウォーキング・ターン	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)
11	ブライダル ドレスウォーキング・ターン	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)
12	ブライダル ドレスエスコート	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)
13	ステージショー	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)
14	ステージショー	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)
15	まとめ	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情、ウォーキング+ター ン(30分)

《実務科目》

科目名	MCトーク				
担当者氏名	金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

テレビ中継でのレポートやMCの経験を持つ教員が、テレビやステージでの自分の見せ方や豊かな表現の習得、リポーターの立場とカメラマンの立場の二つの目線からレポートを構成できるようにするための実践的授業を行う。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

希望があれば解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

言葉はもちろん、表情や動きで自己の能力を最大限発揮し、表現することができるようになる。
相手に伝わる声の大きさで、状況に応じた言葉を適切に使えるよう知識や技術を習得する。言葉や構成が適切であったか、客観的に評価できるようになる。

《成績評価基準》

授業で習った発声方法、滑舌、言葉遣いをどのくらい習得できているか、見ている人に伝わるように、話すスピードや内容の構成方法に工夫があるか、実技試験で判断する。
また、毎回の授業で、表情や動きを豊かに表現しているか、授業へ取り組む姿勢を評価する。

《成績評価の方法》

実技 40% 授業の取組 60%

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	司会進行のやり方	発声練習(30分) 司会の原稿を声に出して練習する(30分)
2	司会進行 実践	発声練習(30分) 司会の原稿を声に出して練習する(30分)
3	食レポでの食べ方	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
4	食レポ 実践	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
5	インタビューの構成	発声練習(30分) インタビューでの質問を考える(30分)
6	インタビュー	発声練習(30分) インタビューしている番組を見て研究(30分)
7	インタビュー	発声練習(30分) インタビューしている番組を見て研究(30分)
8	レポートのやり方	発声練習(30分) 写真を見て行ったつもりでレポートする(30分)
9	レポート 実践	発声練習(30分) テレビのレポート中継を見る(30分)
10	レポート 実践	発声練習(30分) テレビのレポート中継を見る(30分)
11	MC やり方	発声練習(30分) 授業で習ったMCの自主練習(30分)
12	MC 実践	発声練習(30分) 授業で習ったMCの自主練習(30分)
13	フリートーク	発声練習(30分) テーマを決めて1分間話す(30分)
14	フリートーク	発声練習(30分) テーマを決めて1分間話す(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)

《実務科目》

科目名	アフレコ				
担当者氏名	小鶴 史江				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

アフレコのために必要な、『声だけで表現する演技』の技術について学ぶ。また、声優が主として行う一般的な仕事も体験する。
自分の演技を演出し、楽しんで表現できることを目指す。

《教科書》

こちらで用意する台本等。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技に対し、口頭で行う。

《授業の到達目標》

- ・マイク前で個性や感情を自由に表現できる。
- ・表現したいことを他者に説明し、自分自身を演出できるようになる。
- ・豊かな感情表現を身に着ける。
- ・役を解析、自分との違いを見つける。

《成績評価基準》

- ・演出プランや推測される感情、感覚を説明できるか。
- ・演出プランを作り、その通りに表現できるか。
- ・表現する事を楽しめているか。
- ・次回の目標点を定められるか。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 % 実技 60%
授業の取組 30%
その他(成長率(見込)) 10%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ナレーション作品の実習	予習：ナレーション作品の鑑賞。良い点・改良点を考える。(10分) 復習：ひとりの時に再度、演出プランで表現してみる。(10分)
2	"動いている"キャラクターを演じる	予習：動きのあるアテレコ作品の鑑賞。息などを声出ししてみる。(30分以上) 復習：台本に合わせて、実際に動きながらしゃべってみる。(30分)
3	アフレコ台本のチェック方と実習	予習：台本の自分なりのチェック。(10分以上) 復習：台本に合わせて、実際に動きながらしゃべってみる。(30分)
4	アフレコ実習	予習：台本の自分なりの復習。(30分以上) 復習：動きながらの台詞を、直立姿勢で再現してみる。(30分)
5	ラジオドラマ実習(1)	予習：台本のチェック。(30分以上) 復習：課題を実際に声に出し、動きながら、演じてみる。(30分以上)
6	ラジオドラマ実習(2)	予習：日常の中で相手に言葉が伝わっている事、伝えた事を体感する。(30分) 復習：台本に合わせて、実際に動きながらしゃべってみる。(30分)
7	ドキュメンタリー作品実習(1)	予習：アテレコされたドキュメンタリー作品を視聴する。(10分以上) 復習：台本の声出し。(20分以上)
8	ドキュメンタリー作品実習(2)	予習：アテレコされたドキュメンタリー作品のチェック。(10分以上) 復習：台本に合わせての声出し。(20分以上)
9	実習(1)	予習：ナレーション、アテレコ等、声のみを使った作品の鑑賞。声出し。(20分) 復習：課題を実際に声に出し、演じてみる。(30分以上)
10	実習(2)	予習：ナレーション、アテレコ等、声のみを使った作品の鑑賞。声出し(20分) 復習：課題を実際に声に出し、演じてみる。(30分以上)
11	作品制作(1)	予習：アニメ、外画、朗読などの視聴をする。(30分) 復習：今回の課題を読み直してみる。(30分)
12	作品制作(2)	予習：台本の見直し、演出、声出し。(20分) 復習：今回の課題を読み直してみる。(30分)
13	作品制作(3)	予習：台本の見直し、声出し。(20分) 復習：今回の課題を聞き返し、自己・他者両方の改良点を洗い出す。(30分)
14	半期の成果の発表	予習：課題について考え、声に出して表現する。(30分) 復習：『リラックス』し、再度プラン通りに読み直してみる。(30分)
15	振り返りと個々の『課題』の提案	予習：前回の課題を声出し、自宅で収録してみる。(30分) 復習：今までの渡されている課題を『語り』直してみる。(30分)

《実務科目》

科目名	ラジオ番組制作演習				
担当者氏名	上田 知佳				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ラジオ番組を構成し、実際に自分で話し、番組を作る。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

ラジオ番組を制作し、表現出来るようになる。

《成績評価基準》

授業への取組、日々のレポート内容から、総合的に評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 50%
 授業の取組 50%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ラジオ番組の成り立ち	予習：エリアのラジオを聴いて感想を考える(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
2	ラジオ番組を構成する	予習：エリアのラジオを聴いて感想を考える(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
3	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴いて感想を考える(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
4	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴き、気になる話題をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
5	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴き、気になる話題をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
6	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴き、気になる話題をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
7	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴き、気になる話題をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
8	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴き、気になる話題をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
9	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴き、気になる話題をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
10	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴き、気になる話題をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
11	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴き、気になる話題をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
12	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴き、気になる話題をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
13	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴き、気になる話題をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
14	テーマに沿う番組を構成し、パーソナリティとして伝える	予習：エリアのラジオを聴き、気になる話題をまとめておく(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)
15	まとめ	予習：今までの授業内容をふり振り返りまとめておく。(30分) 復習：授業で学んだ事を復習、やり直し(30分)